

大雪の水を守る

大函森林事務所

石狩川に注ぎ込む銀河・流星の滝



上川中部森林管理署 大函森林事務所



くらしを育む・国有林

上川郡上川町川端町13

TEL(01658)-2-3322

1. 概要

大函森林事務所管内の国有林面積は約32,519haで、その全てが大雪山国立公園に指定され、森林を流れる沢のほとんどが大雪ダムに注いでダムの水源となっています。

また、この森林の中を貫く国道39号線は石北峠を経て北見方面、国道273号線は三国峠を経て帯広方面に通じており道北と道東を結ぶ動脈として沢山の車が通行しています。

それぞれの峠の周りは豊かな森林が残されており、紅葉時期にはすばらしい景観が眺望できます。



このほか、層雲峡の神秘を間近で感じる事が出来る「大函・小函」や太古の森林そのままの「大雪原生林」を見ることが出来ます。

森林の機能としては、標高の高いところは『植物群落保護林等』、国道沿岸の景観の優れた箇所については「自然維持タイプ」、それ以外の景勝地については「森林利用タイプ」、土砂災害の危険がある箇所については『国土保全タイプ』、その他については『水源かん養タイプ』として管理しています。

また、ニセイチャロマップ川では、魚の移動に配慮した治山事業を実施しています。

高原温泉には「ヒグマ情報センター」があり、大自然を散歩する山の主を運が良ければ見ることが出来るかもしれません。このほか、白雲岳石室～小泉岳について林地の保全に係わるモニタリングを実施しています。

2. 主な事業

大函森林事務所では、二酸化炭素の吸収効率を高めるため「受光伐」としての伐採系森林整備事業(主伐・間伐)、造林事業、治山事業を実行しています。



合同森林事務所

3. 事務所管内の見所

管内の国有林は大雪山国立公園特別保護地区3,467haを擁し、景観特徴は2千メートル近い高所になだらかな溶岩台地が広がるおおらかな印象を受ける山々です。ここではそのすばらしい自然を満喫できるポイントを紹介します。

大雪湖

昭和50年9月に完成した大雪湖(大雪ダム)は洪水の調節、灌漑用水・水道用水の供給、発電等を目的に作られ、下流の1市4町に対する灌漑用水は年間2千70万トン、上水道は旭川市へ日量10万トンを供給しています、また、6箇所の発電所で発電する電力は87,800kwで旭川・札幌などの北海道主要部へ送られています。

豊かな自然が残る大雪湖にはアメマスやオショロコマ、ニジマス釣りのメッカとして多くの釣り人がやってきます。

国有林は、このように大切な大雪湖の水資源を守っています。



大函・小函

国道39号線沿いには、層雲峡の神秘「柱状節理」の「大函・小函」があります、歩道は落石により通行できませんが大函は車から降りてすぐ見ることができます。

大雪原生林

国道39号線沿いの大雪原生林は層雲峡地区の原生林が残っている箇所
で自然の生命力を感じることが出来る森林です。



大雪高原山荘

高原温泉唯一の宿泊施設である。(紅葉時期はマイカー乗り入れ規制がある
ので注意)ここから緑岳・高原沼巡り・高根ヶ原等の登山が出来る。

緑 岳

高原温泉から日帰り圏内の山ですが、山頂手前の第一、第二お花畑が
見事な景観です。山頂は高根ヶ原からトムラウシ山にかけての雄大な眺め
が楽しめます。

高原沼巡り

高原温泉向かいのヒグマ情報センターで入林手続きをして入山して下さい。
ヒグマが多いので入林時間・下山時間が制限されてますが大小30ほどの
特色のある沼を見ることが出来ます。



ヒグマ情報センター



沼 ノ 原

沼 ノ 原

沼ノ原へ続く層雲峡本流林道は、平成28年の大雨で路体を流失するなどの
大きな被害を受け現在復旧工事中のため大変危険なので、林道入り口より
「工事関係者以外通行禁止」としてあります。

まだまだ沢山の見所がありますが、山に入る時には入林申請を忘れずに、
登山のマナーを守って無理のない計画で楽しみましょう。

また、野生動物に食べ物を与えたり捨てたりすると、自分で餌を捕れなくな
ってしまったり、ヒグマを誘引する原因となり非常に危険です。絶対にやめま
しょう。



高原山荘



紅葉直前の高原山荘駐車場



緑岳(第二花園)

毎年、高原山荘までの区間林道や銀泉台線は町で除雪をしています。



位置図

1 : 600,000

